

子ども・子育て支援事業に関する ニーズ調査票

【ご記入にあたってのお願い】

- 1 アンケートには、お子さんの保護者が記入してください。
(氏名・住所の記入の必要はありません。)
- 2 ご回答は、選択肢に ○ をつけてお選びいただく場合と、数字などを記入していただく場合があります。
- 3 質問によって、「あてはまる番号1つに○」「あてはまる番号すべてに○」など、回答数を指定している場合は、指定の範囲内で ○印 をつけてください。
また、「その他」をお選びいただいた場合、その後にある () 内には、具体的な内容を記入してください。
- 4 数字で時間(時刻)をご記入いただく場合は、24時間制(例:午後6時→18時)で記入してください。
- 5 設問のご回答によって、次の設問に回答していただく必要がなくなる場合がありますので、ことわり書きや矢印に従って回答してください。特にことわり書きのない場合は次の設問にお進みください。
- 6 ご記入が済みましたら、お手数ですが同封の返信封筒に入れて、2月1日(金)までに郵便ポストに投函してください。(返信封筒に切手は不要です。)

ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願い致します。

北上市 子育て支援課 育児支援係 電話 0197-72-8260 (直通)

調査実施の趣旨とその目的

北上市では、子ども・子育て支援法（平成 24 年法律第 65 号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下『子ども・子育て支援新制度』といいます。）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5 年間を一期とする第 1 期子ども・子育て支援事業計画を平成 27 年度に作成し、計画的に給付・事業を実施しています（第 2 期計画は 2020 年度から）。

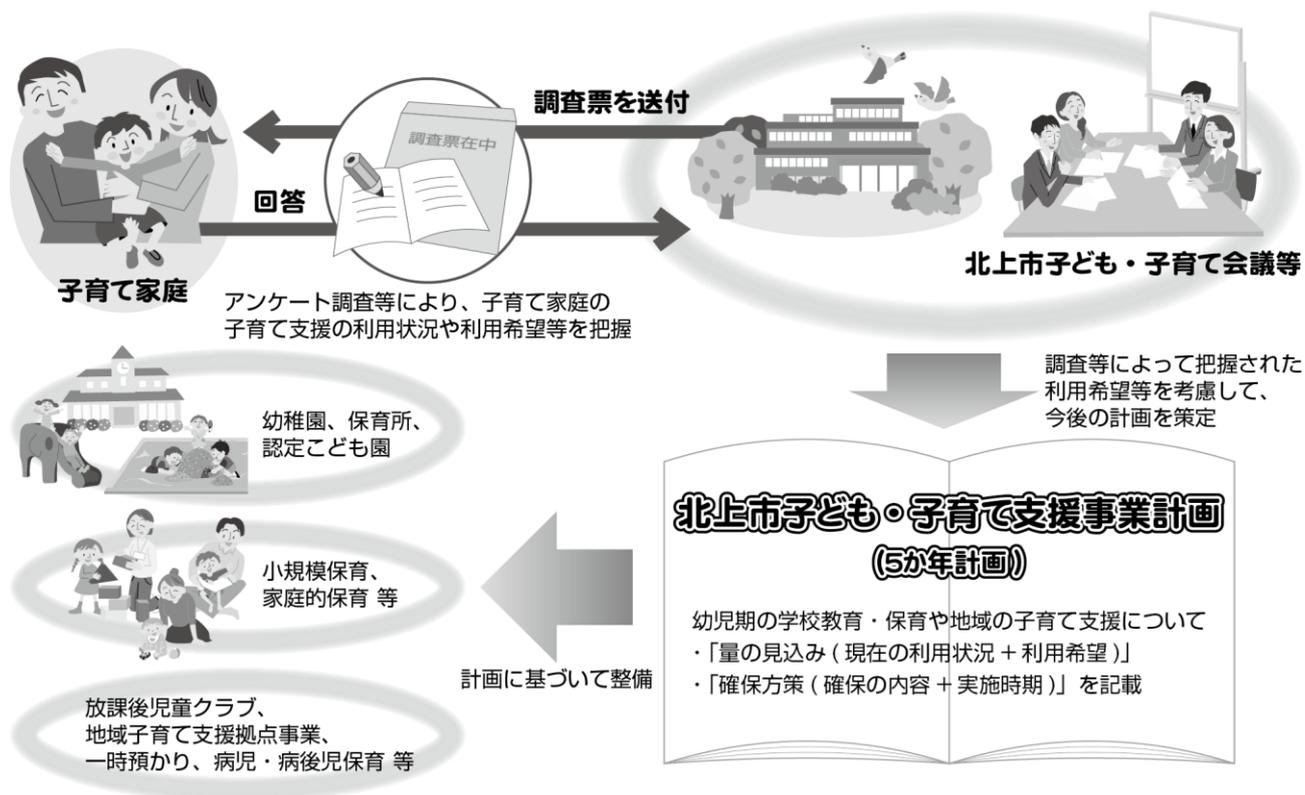
本調査は、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を市が算出するため、市民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

なお、ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。

また、この制度は、以下のような考え方に基づいています。

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に応じて、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長過程の中では、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達とともに、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められ、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、その環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たす上で、子育ての権利を享受することが可能となるよう、支援を行うものです。
地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげる助けとなることで、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合い、親として成長するとともに、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じるができるよう、より充実した支援の実現を目指しています。

いただいた回答は北上市の子育て支援の充実に生かされます



（用語の定義）

この調査票における用語の定義は以下のとおり

- 幼稚園：** 学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）
- 保育所：** 児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第39条）
- 認定こども園：** 幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）
- 子育て：** 教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- 教育：** 問14までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問15以降においては幼児期の学校における教育の意味

宛名のお子さんの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。
 ※お子さんからみた関係でお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

- | | | | | |
|----------|-----------|---------|--------|--------|
| 1. 父母ともに | 2. 母親 | 3. 父親 | 4. 祖父母 | 5. 幼稚園 |
| 6. 保育所 | 7. 認定こども園 | 8. その他（ | ） | |

問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に影響を与えると思う環境は何ですか。
 （あてはまる番号すべてに○）

- | | | | |
|-----------|---------|--------|--------|
| 1. 家庭 | 2. 地域 | 3. 幼稚園 | 4. 保育所 |
| 5. 認定こども園 | 6. その他（ | ） | |

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。（あてはまる番号すべてに○）

- | | | |
|------------------------------------|--------|---------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | } | ⇒ 問9-1へ |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる | | |
| 3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる | } | ⇒ 問9-2へ |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | | |
| 5. いずれもない | ⇒ 問10へ | |

問9-1 問9で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。
祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
 （あてはまる番号すべてに○）

- | | | |
|---|---|--|
| 1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる | } | |
| 2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である | | |
| 3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である | | |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい | | |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある | | |
| 6. その他（ | | |

問9-2 問9で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。
友人・知人に預かってもらっている状況についてお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

- | | | |
|---|---|--|
| 1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる | } | |
| 2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である | | |
| 3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である | | |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい | | |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある | | |
| 6. その他（ | | |

問10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。（あてはまる番号1つに○）

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. いる/ある ⇒ 問10-1へ | 2. いない/ない ⇒ 問11へ |
|-------------------|------------------|

問 10-1 問 10 で「1. いる／ある」に○をつけた方うかがいます。

お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。
（あてはまる番号すべてに○）

1. 祖父母等の親族	2. 友人や知人
3. 近所の人	4. 子育て支援施設（地域子育て支援センター等）・NPO
5. 保健所・保健センター	6. 保育士
7. 幼稚園教諭	8. 民生委員・児童委員
9. かかりつけの医師	10. 市の子育て関連担当窓口（健康増進課、療育センターなど）
11. その他	【例】ベビーシッター

問 11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問 12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

（1）母親（あてはまる番号1つに○） ※父子家庭の場合は記入不要です。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	⇒ (1)-1へ
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	⇒ (2)へ
6. これまで就労したことがない	

※フルタイムには、農業や漁業に従事される方や商店等を自営する方を含みます。

(1) -1 (1)で「1. ～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」を、□の中に数字でご記入ください。

※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり	<input type="text"/>	日	1日当たり	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時間程度
-------	----------------------	---	-------	----------------------	----------------------	------

(1) -2 (1)で「1. ～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

家を出る時刻と帰宅時刻を、□の中に数字でご記入ください。

※時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

※時間は、必ず(例)08時～18時のように、24時間制でお答えください。

家を出る時間	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時台	帰宅時間	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時台
--------	----------------------	----------------------	----	------	----------------------	----------------------	----

(2) 父親 (あてはまる番号1つに○) ※母子家庭の場合は記入不要です。

- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、育休・介護休業中ではない
- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、育休・介護休業中である
- パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない

⇒ (2)-1へ

⇒ 問14へ

※フルタイムには、農業や漁業に従事される方や商店等を自営する方を含みます。

(2) -1 (2)で「1. ～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」を、□の中に数字でご記入ください。

※就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

※育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり	<input type="text"/>	日	1日当たり	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時間程度
-------	----------------------	---	-------	----------------------	----------------------	------

(2) -2 (2)で「1. ～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

家を出る時刻と帰宅時刻を、□の中に数字でご記入ください。

※時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

※育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

※時間は、必ず(例)08時～18時のように、24時間制でお答えください。

家を出る時間	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時台	帰宅時間	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時台
--------	----------------------	----------------------	----	------	----------------------	----------------------	----

問13 問12の(1)または(2)で「3. 4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にかがいます。 ⇒該当しない方は、問14へ

フルタイムへの転換希望はありますか。(あてはまる番号1つに○)

(1) 母親

- 1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
- 2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- 3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)で就労を続けることを希望
- 4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

- 1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
- 2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- 3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)で就労を続けることを希望
- 4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

問14 問12の(1)または(2)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にかがいます。 ⇒該当しない方は、問15へ
就労したいという希望はありますか。(あてはまる番号・丸数字それぞれ1つに○)
※該当する□の中には数字をご記入ください。

(1) 母親

- 1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
 - 2. 1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい
 - 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
- 希望する就労形態
- ① フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
 - ② パートタイム・アルバイト等(①以外)
- 1週当たり □日 1日当たり □□時間程度

(2) 父親

- 1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
 - 2. 1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい
 - 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
- 希望する就労形態
- ① フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
 - ② パートタイム・アルバイト等(①以外)
- 1週当たり □日 1日当たり □□時間程度

問 15-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所はどこですか。(あてはまる番号1つに○)

1. 北上市内

2. 市外

問 15-4 平日に定期的に教育・保育事業を利用している理由は何ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

1. 子どもの教育や発達のため

2. 子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している

3. 子育て(教育を含む)をしている方に就労予定がある/求職中である

4. 子育て(教育を含む)をしている方が家族・親族などを介護している

5. 子育て(教育を含む)をしている方に病気や障害がある

6. 子育て(教育を含む)をしている方が学生である

7. その他(

問 15-5 問 15で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

利用していない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

※「8.」に○をつけた場合は、年齢を□の中に数字でご記入ください。

1. (子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない

2. 子どもの祖父母や親戚がみている

3. 近所の人や父母の友人・知人がみている

4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない

5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない

6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない

7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない

8. 子どもがまだ小さいため(□歳くらいになったら利用しようと考えている)

9. その他()

問 16 すべての方にかがいます。

現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育事業として、「定期的に」利用したいと考える事業はどれですか。(あてはまる番号すべてに○)

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担があります。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

1. 幼稚園	2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
3. 認可保育所 (国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員 20 人以上のもの)	4. 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
5. 小規模な保育施設 (国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね 6～19 人のもの)	6. 家庭的保育 (保育者の家庭等で 5 人以下の子どもを保育する事業)
7. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)	8. 自治体の認証・認定保育施設 (認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設)
9. その他の認可外保育施設	10. 居宅訪問型保育 (ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)
11. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	12. その他 ()

※現在、北上市では実施していない事業も含まれています。

問 16-1 教育・保育事業を利用したい場所はどこですか。(あてはまる番号 1 つに○)

1. 北上市内	2. 市外
---------	-------

問 16-2 問 16-1 で「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ「3. 認可保育所から 9. その他の認可外保育施設」にも○をつけた方にかがいます。

特に幼稚園(幼稚園の預かり保育を併せて利用する場合を含む)の利用を強く希望しますか。
(あてはまる番号 1 つに○)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

宛名のお子さんの地域の子育て支援拠点事業の 利用状況についてうかがいます。

問 17 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。
（次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。）
※おおよその利用回数（頻度）を□の中に数字でご記入ください。

1. 地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）
1 週当たり □ 回 もしくは 1 ヶ月当たり □ 回 程度
2. その他北上市で実施している類似の事業（具体名： _____）
1 週当たり □ 回 もしくは 1 ヶ月当たり □ 回 程度
3. 利用していない

問 18 問 17 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないができれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。（あてはまる番号 1 つに○）
※おおよその利用回数（頻度）を□の中に数字でご記入ください。
※なお、これらの事業の利用には、一定の利用料がかかることがあります。

1. 利用していないが利用したい
1 週当たり □ 回 もしくは 1 ヶ月当たり □ 回 程度
2. すでに利用しているが利用日数を増やしたい
1 週当たり 更に □ 回 もしくは 1 ヶ月当たり 更に □ 回 程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問 19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。
※①～⑦の事業ごと、A～Cのそれぞれに「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。
※なお、事業によっては、北上市で実施されていないものもあります。

	A 知っている	B これまでに利用 したことがある	C 今後利用したい
①母親（父親）学級、両親学級、育児学級	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
②保健センターの情報・相談事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
③家庭教育に関する学級・講座	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
④教育相談センター・教育相談室	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑥子育ての総合相談窓口	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑦北上市発行の子育て支援情報 （冊子、チラシなど）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

**宛名のお子さんの土曜・休日や長期休業中の
「定期的な」教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。**

問 20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか。(一時的な利用は除きます。)

((1) (2) それぞれについて、あてはまる番号1つに○)

※希望がある場合は、利用したい時間帯を□の中に数字でご記入ください。

※時間は、必ず(例)08時～18時のように24時間制でご記入ください。

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用料がかかる場合があります。

※教育・保育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指します。親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない 2. ほぼ毎週利用したい 3. 月に1～2回は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯 □ □ 時台から □ □ 時台まで
---	-----	-------------------------------

(2) 日曜・祝日

1. 利用する必要はない 2. ほぼ毎週利用したい 3. 月に1～2回は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯 □ □ 時台から □ □ 時台まで
---	-----	-------------------------------

問 20-1 問 20 の (1) もしくは (2) で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 月に数回仕事が入るため	2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため	4. 息抜きのため
5. その他 ()	

問 21 「幼稚園」を利用している方にうかがいます。⇒該当しない方は、問 22 へ

宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休業期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。(あてはまる番号1つに○)

※希望がある場合は、利用したい時間帯を□の中に数字でご記入ください。

(例)08時～18時のように24時間制でご記入ください。

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用料がかかることがあります。

1. 利用する必要はない 2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい 3. 休みの期間中、週に数日利用したい	} ⇒	利用したい時間帯 □ □ 時台から □ □ 時台まで
--	-----	-------------------------------

問 21-1 問 21 で「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 週に数回仕事が入るため	2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため	4. 息抜きのため
5. その他 ()	

問 22-3 問 22-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
上記の目的で子どもを預ける場合、下記のどの事業形態が望ましいと思いますか。
(あてはまる番号すべてに○)

- | |
|--|
| 1. 他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業 |
| 2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業 |
| 3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等） |
| 4. その他（ ） |

⇒ 問 23 へ

問 22-4 問 22-2 で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。
そう思う理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-----------------------------------|--|
| 1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安 | 2. 地域の事業の質に不安がある |
| 3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない | |
| 4. 利用料がかかる・高い | 5. 利用料がわからない |
| 6. 親が仕事を休んで対応する | 7. その他（ ） |

問 22-5 問 22-1 で「3. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった から 9. その他」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思いましたか。

(あてはまる番号 1 つに○)

※「3. ～9.」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数を□の中に数字でご記入ください。

- | |
|-----------------------------------|
| 1. できれば仕事を休んで看たい ⇒ □ □ 日 ⇒ 問 23 へ |
| 2. 休んで看ることは非常に難しい ⇒ 問 22-6 へ |

問 22-6 問 22-5 で「2. 休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。
そう思う理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|----------------------|--|
| 1. 子どもの看護を理由に休みがとれない | 2. 自営業なので休めない |
| 3. 休暇日数が足りないので休めない | 4. その他（ ） |

問 24-1 問 24 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 24 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思いますか。
(あてはまる番号すべてに○)

- | |
|---|
| 1. 大規模施設で子どもを預かる事業 (例: 幼稚園・保育所等) |
| 2. 小規模施設で子どもを預かる事業 (例: 地域子育て支援拠点事業等) |
| 3. 地域住民等が子育て家庭等近くの場所で保育する事業 (例: ファミリー・サポート・センター等) |
| 4. その他 () |

問 25 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。(あてはまる番号・丸数字すべてに○)

※それぞれの泊数も□の中に数字でご記入ください。

	1年間の対処方法	泊数
1. あった	① (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	□ □ 泊
	② 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	□ □ 泊
	③ ②以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	□ □ 泊
	④ 仕方なく子どもを同行させた	□ □ 泊
	⑤ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□ □ 泊
	⑥ その他 ()	□ □ 泊
2. なかった	⇒ 問 26 へ	

問 25-1 問 25 で「1. あった ① (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。 ⇒ 「1. ①」以外を選択した方は、問 26 へ
その場合の困難度はどの程度でしたか。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|----------|--------------|-------------|
| 1. 非常に困難 | 2. どちらかという困難 | 3. 特に困難ではない |
|----------|--------------|-------------|

宛名のお子さんが5歳以上の方に、放課後の過ごし方の希望をうかがいます。

⇒ 5歳未満の方は、問 30 へ

問 26 宛名のお子さんが、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

※それぞれ該当する週当たり日数を□の中に数字でご記入ください。

※「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も□の中に数字でご記入ください。

（例）午後6時→18時のように24時間制で数字をご記入ください。

「放課後児童クラブ」…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、学校等で子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかることがあります。

1. 自宅	週	<input type="text"/>	日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	<input type="text"/>	日くらい
3. 塾や習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週	<input type="text"/>	日くらい
4. 児童館※ ₁	週	<input type="text"/>	日くらい
5. 放課後子ども教室※ ₂	週	<input type="text"/>	日くらい
6. 放課後児童クラブ（学童保育）	週	<input type="text"/>	日くらい →下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時台まで
7. ファミリー・サポート・センター	週	<input type="text"/>	日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週	<input type="text"/>	日くらい

※₁ 現在、北上市に児童館はありません。

※₂ 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

問 27 宛名のお子さんが、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

※それぞれ該当する週当たり日数を□の中に数字でご記入ください。

※「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も□の中に数字でご記入ください。

（例）午後6時→18時のように24時間制で数字をご記入ください。

※現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週	<input type="text"/>	日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	<input type="text"/>	日くらい
3. 塾や習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週	<input type="text"/>	日くらい
4. 児童館※ ₁	週	<input type="text"/>	日くらい
5. 放課後子ども教室	週	<input type="text"/>	日くらい
6. 放課後児童クラブ（学童保育）	週	<input type="text"/>	日くらい →下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時台まで
7. ファミリー・サポート・センター	週	<input type="text"/>	日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週	<input type="text"/>	日くらい

※₁ 現在、北上市に児童館はありません。

問 28 問 26 または問 27 で「6. 放課後児童クラブ (学童保育)」に○をつけた方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は、問 30 へ

宛名のお子さんについて、土曜日と日曜・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。

((1) (2) それぞれについて、あてはまる番号1つに○)

※利用したい時間帯を□の中に数字でご記入ください。

(例) 08 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。

(1) 土曜日

1. 低学年 (1～3 年生) の間は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯
2. 高学年 (4～6 年生) になっても利用したい		□ □ 時台から □ □ 時台まで
3. 利用する必要はない		

(2) 日曜・祝日

1. 低学年 (1～3 年生) の間は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯
2. 高学年 (4～6 年生) になっても利用したい		□ □ 時台から □ □ 時台まで
3. 利用する必要はない		

問 29 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期休業期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。(あてはまる番号1つに○)

※利用したい時間帯を□の中に数字でご記入ください。

(例) 08 時～18 時 のように 24 時間制でご記入ください。

1. 低学年 (1～3 年生) の間は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯
2. 高学年 (4～6 年生) になっても利用したい		□ □ 時台から □ □ 時台まで
3. 利用する必要はない		

問 30-2 問 30 で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は、問 31 へ

育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（あてはまる番号 1 つに○）

(1) 母親

- 1. 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒ 問 30-3 へ
- 2. 現在も育児休業中である ⇒ 問 30-9 へ
- 3. 育児休業中に離職した ⇒ 問 31 へ

(2) 父親

- 1. 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒ 問 30-3 へ
- 2. 現在も育児休業中である ⇒ 問 30-9 へ
- 3. 育児休業中に離職した ⇒ 問 31 へ

問 30-3 問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

育児休業から職場に復帰したのは、4 月の保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。（どちらか 1 つに○）

※年度初めでの認可保育所入所を希望したが、復帰が 1 月～2 月頃だったため、一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。

※年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」と回答してください。

(1) 母親

- 1. 4 月の入所に合わせたタイミングだった
- 2. それ以外だった

(2) 父親

- 1. 4 月の入所に合わせたタイミングだった
- 2. それ以外だった

問 30-4 育児休業から、「実際」に職場復帰したのは、お子さんが何歳何ヶ月のときでしたか。また、「希望」としては、お勤め先の制度の期間内で、育児休業を何歳何ヶ月のときまで取得したかったですか。

（□の中に数字でご記入ください）

(1) 母親

実際の取得期間 □ 歳 □ □ ヶ月 希望 □ 歳 □ □ ヶ月

(2) 父親

実際の取得期間 □ 歳 □ □ ヶ月 希望 □ 歳 □ □ ヶ月

問 30-5 お勤め先に、育児のために 3 歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取得したかったですか。（□の中に数字でご記入ください）

(1) 母親

□ 歳 □ □ ヶ月

(2) 父親

□ 歳 □ □ ヶ月

問 30-6 問 30-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

(1) 「希望」より早く復帰した方

①母親

1. 希望する保育所に入るため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他 ()	

②父親

1. 希望する保育所に入るため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他 ()	

(2) 「希望」より遅く復帰した方

①母親

1. 希望する保育所に入れなかったため	2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため	4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため	
6. その他 ()	

②父親

1. 希望する保育所に入れなかったため	2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため	4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため	
6. その他 ()	

問 30-7 問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は、問 30-9 へ

育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。(あてはまる番号1つに○)

(1) 母親	(2) 父親
1. 利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)	1. 利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)
2. 利用した	2. 利用した
3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)	3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)

問 31 お住まいの地域における子育て環境や支援への満足度をお答えください。

(あてはまる番号1つに○)

満足度が低い	←————→	満足度が高い		
1. 不満	2. やや不満	3. ふう	4. やや満足	5. 満足

北上市が今後力を入れるべき施策、必要な施策についてうかがいます。

問 32 すべての方にうかがいます。

「子育て家庭から笑い声があふれるまち」を目指す北上市として、今後どのようなことに力を入れるべき、または、どのようなことが必要であるとお考えですか。

(1) 多様な教育・保育を受けられる環境づくり (あてはまる番号すべてに○)

① 幼児期保育の視点から ※ () 内にも○をしてください。

1. 保育所新設 (公立・私立)	2. 幼稚園新設 (公立・私立)
3. 認定こども園新設 (公立・私立)	4. 小規模な保育施設新設 (公立・私立)
5. 認可外保育施設新設	6. 保育施設的环境改善 (安全対策・空調・防犯対策)
7. 延長保育、一時預かりの充実	8. 保育士等の人員確保
9. 保育士等の質向上	

② 就学期の保育の視点から ※ () 内にも○をしてください。

1. 小学校新設 (公立・私立)	2. 中学校新設 (公立・私立)
3. 学校施設的环境改善 (安全対策・空調・防犯対策・通学手段)	4. 就学への経済的援助
5. 学童保育所新設	6. 学童保育所的环境改善 (安全対策・空調・防犯対策)

(2) 安心して子どもを産み育てられる環境づくり (あてはまる番号すべてに○)

① 子育て支援サービスの質の視点から

1. 家事・育児代行サービス	2. 相談や助言を受けられる常設施設
3. 子育てサークル活動	4. 子育てサービスアプリ (スマホ・PC)
5. 子育て情報提供 (ガイドブック・チラシ・広報紙)	6. 医療費負担の軽減

② 親となることへの不安解消の視点から

1. 妊産婦健診の充実	2. 産前産後講座
3. 妊産婦訪問指導	4. 育児ボックス支給

③ 乳幼児の健全な成長のための視点から

1. 乳幼児健診の充実	2. 育児講座
3. 発達相談を受けられる常設施設	4. 食育・料理教室

(3) 仕事と子育てを両立できる環境づくり (あてはまる番号すべてに○)

① 仕事と子育てのバランスの視点から

- | | |
|--------------|-------------------------|
| 1. 男女共同参画の啓発 | 2. 出産後の職場復帰支援 |
| 3. 父親母親講座 | 4. 子育てを応援する企業・事業者の表彰や紹介 |

② 子育てに理解のある環境づくりの視点から

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. オムツ替え・授乳スペースの確保 | 2. 短時間託児サービス |
| 3. 児童虐待防止対策 | 4. 児童や保護者の相談を受ける常設施設 |
| 5. 経済的困窮家庭への支援 | 6. こども食堂 |
| 7. 地域での子育て見守り | |

(4) 支援が必要な子どもと家庭を応援する環境づくり (あてはまる番号すべてに○)

① 障がいのある子への支援の視点から

- | | |
|---------------|--|
| 1. 相談を受ける専門機関 | 2. 保育園・幼稚園・小学校・中学校の環境改善
(人員体制・専門職員配置・バリアフリー化) |
| 3. 短期入所サービス | |

② ひとり親家庭への支援の視点から

- | | |
|---------------|------------|
| 1. 相談を受ける専門機関 | 2. 生活安定の支援 |
|---------------|------------|

問 33 最後に、教育・保育環境の充実など子育て環境や支援に関してご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
同封の封筒に入れて、2月1日（金）までに郵便ポストに投函してください
（返信封筒に切手は貼らないでください。）

